

在学留学報告書 (1年留学)

留学の前半終了時：シート番号1, 2, 4, 7のみ記入して提出してください。

留学の後半終了時：シート番号0, 3, 5, 6, 8を記入して提出してください。

●基本情報

留学開始年度	2022	留学種別	交換
留学先国	チェコ	留学先大学名	パラツキー大学オロモウツ
本学での所属学部(研究科)・学科・専攻			
経済学部		経済学科	
出発時の年次	学部3年次		
留学期間(実際の渡航期間)	2022	年	9月～2023年6月

●認定留学の方への質問

どのように留学先を選びましたか？
大学の交換留学提携校より、規定を満たしている大学から選択した。
留学先決定後、渡航までの手続きの為に留学斡旋業者を利用しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用した (会社名：) 仲介手数料 (円) <input checked="" type="checkbox"/> 留学斡旋会社を利用しなかった (以下の質問には回答不要)
どのように業者を選定しましたか？

●渡航までの準備

1. 入学申請

授業料は支払いましたか？
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ (以下の質問には回答不要)
授業料総額： (円)
授業料総額のうち渡航前に支払った金額合計： (円)
支払い方法：

2. ビザ申請

ビザ申請先	
<input checked="" type="checkbox"/> 在日大使館/領事館等 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 現地に到着してから申請 (申請の場所：)	
必要書類	
ビザ申請用紙(写真3枚) パスポートのデータ面コピー	
取得にかかった期間(申請してから要した期間)	・取得費用
3ヶ月(下記に記入)	ビザ申請6650円、残高証明書2200円、無犯罪証明書400円 (日本・チェコ保険加入費用、交通費は除く)
具体的な申し込み手順(例：必要書類の準備→オンライン申請→面接予約→申請に行く→ビザ発行後受け取りに行く。)	
留学書類を集める(留学決定後～入学許可証が届くまでに) 6/27入学許可証が届く、申請予約メール送る 7/4 返信 8/10 申請 9/26 ビザ発行(保険の提出) 10/1 ビザ到着、渡航	
ビザ申請の際の面接	
<input checked="" type="checkbox"/> 面接有 (質問の内容 / 言語等：) <input type="checkbox"/> 面接無	
ビザ申請の際の注意点やアドバイス	
入学許可証が届き次第申請ができるように全ての準備をしておくこと。	

現地でビザの延長申請を行いましたか？	
<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行かなかった (以下1~5には回答不要)	
1.申請先	
2.申請時期	
3.必要書類	
4.具体的な手続き	
5.注意点等	
3. 住居の確保	
どのように住居を見つけましたか？	
大学の寮	
住居の申し込み手順	
申し込み手続きなし	
渡航前に支払った費用とその内訳	
費用： 3480コルナ(20789円 10/20 円)	内訳： 1ヶ月ごとに月末支払い。 (入寮時デポジット1ヶ月分。退寮時に返却。)
住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()
設備 (ネット環境、共有スペース、部屋に設置されている家具等)	
シャワートイレ。キッチン(IHコンロ2つ)。調理器具は各自で揃える必要あり。	
食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食事の提供があった (<input type="checkbox"/> 朝 <input type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜) <input type="checkbox"/> 外食
大学までの通学手段/通学時間	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> ترام <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> その他 ()	
通学時間合計： 20 分	
住居を選ぶにあたってのアドバイスや申請の際のトラブル等	
静かな生活を好む人はNeredin、にぎやかな場所を好むならEnvelopa 私は、1学期目日本人の留学生とNeredinに住んで、2学期目からチェコ人の友達とEnvelopaに住みます。	

●滞在先の変更について

留学中に引っ越しや滞在先の変更は行いましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ (以下1~10には回答不要)	
1.どのように住居を見つけましたか？	
寮内の移動は当日に申請し、当日中に移動できる。 ルームメイトと共に移動はできるが部屋は空き次第。	
2.住居の申し込み手順	
寮内の移動であれば、寮のレセプションに尋ねる。アパートの場合、自分で見つける必要がある。	
3. 費用の合計とその内訳	
費用： 3480コルナ(20000) 円	内訳： 光熱費、水道費、シーツ、掃除込み
4.住居のタイプ	
<input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮の名前：)	
<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他 ()	
5.部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他 ()
6.ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ()

●留学先での履修科目について ※全留学期間分を記入してください。

留学先で取得した単位数合計		credit
		ECTS
本学で認定された単位数合計		単位

●履修登録の方法 (留学前半分)

履修登録の時期	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録
<input type="checkbox"/> 到着後	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介
	<input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 変更できた	<input type="checkbox"/> 追加できた
<input type="checkbox"/> 削除できた	<input type="checkbox"/> 更できない (以下の質問には回答不要)
履修登録の際の注意点等があればお書きください。	
最小ECTSが30、最大ECTSが60なので、経済学部だったら5,6授業で最大ECTSに到達できるかなと思います。(英語学部だと5,6授業で最小なので、経済学部よりも多くの授業を受講できる。受講しなければならない。のかな)また、基本的には専門科目(私の場合は経済学)の授業を80%履修する必要があるようです。	

※以下は留学先で履修した科目 (留学前半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	Entrepreneurship and Finance
	担当教員名	Ondřej Kročil
	時間数 (1週間当たり)	1授業(1時間半)
	授業内容	起業家、スタートアップビジネスの基礎を学ぶ授業。 主にEU内でビジネスを始めるのであれば、どのような手順で進めるのかについて学ぶことができる。
	試験・課題等	エッセイとグループプレゼンテーションのふたつで評価。11月中旬に発表、授業も終了。 エッセイ：『The roles of entrepreneurs in society』word 2枚以上。 グループプレゼンテーション：企画書、プレゼンテーション『Writing a business plan for a fictional enterprise』
	感想・自己評価等	10人ほどの少人数の授業。5人グループでビジネスプランを企画した。 他の留学生とコミュニケーションを取りながら課題を進めることができることはよかったこと。 授業中や企画書を記入する際に、ヨーロッパと日本で少し異なる部分があるのでそこは苦労した。

2	コース名/科目名	Virtual work
	担当教員名	Jaroslava Kubátová
	時間数 (1週間当たり)	2週間に1授業
	授業内容	オンラインやバーチャル社会をうまく活用するにはどのようにしたらいいのかについて学ぶ授業。 講義はzoomで開講されており、2週間に1度授業。
	試験・課題等	12月上旬にエッセイの提出で評価。 エッセイ：word 4枚以上。1か2のトピックを選んで記述。 1. My virtual company - how I will build, maintain and develop our virtual culture 2. My virtual team - how I will choose a virtual company I would like to work for and what I will/will not do to be an outstanding virtual team member
	感想・自己評価等	事前に資料が配られ、その資料をもとに授業が進められる。 生徒が参加できる時間が少なく、他の学生とコミュニケーションを取りたい人にはおすすめできない。

3	コース名/科目名	Philosophy of Economics
	担当教員名	Michal Müller
	時間数 (1 週間当たり)	1授業
	授業内容	経済学の考え方、経済学の基本的なトピックをひとつずつ挙げて、哲学の視点から学ぶ授業。 例えば、社会主義は正当かどうかなど。
	試験・課題等	授業参加と、発表のポイントで評価。 基本的に毎回授業に参加すると受かる授業。
	感想・自己評価等	全てを理解するには少し難しい内容だった。 授業前に、配布資料を読み、それについて話合う授業。全てを理解できていなくても大丈夫。 私にとっては、経済学の一部のテーマに興味を持つきっかけになった。

4	コース名/科目名	Historical Olomouc
	担当教員名	Tomáš SOMER
	時間数 (1 週間当たり)	1授業
	授業内容	オロモウツの歴史について学ぶ授業。
	試験・課題等	エッセイとオンラインでのテスト。12月中旬。 エッセイ：『オロモウツの歴史について』自由記述。Word3-5枚。 テスト：moodleにて、10問の多肢選択式。30分。
感想・自己評価等	インドネシアからの留学生が多く、30人ほどの規模での授業だった。 授業のうち3回ほど、校外学習があり、オロモウツの街を散策しながら、歴史的な建物やモニュメントを説明して下さった。	

5	コース名/科目名	Selected Topic 1
	担当教員名	4人の教授が2授業ずつ交代
	時間数 (1 週間当たり)	1授業
	授業内容	4人の教授がそれぞれの専攻分野についての授業を2コマずつ担当。(2週間ごとに教授が交代する。) (国際経済学、起業家理念、行動経済学、言語モデリング)
	試験・課題等	それぞれの教授が課題を提出。 エッセイの記述4枚であったり、自国のスタートアップ会社についてプレゼンテーションであったり。 やや大変な課題ではあったが、期日までに提出すると単位はもらえると思う。
感想・自己評価等	今まであまり関わりが少なかった経済の分野について触れる機会でもあり、興味関心を持つことができた。 特に、私はこの授業をきっかけに『行動経済学』や『リバタリアンパターナリズムとナッジ』について興味を持つことができた。	

6	コース名/科目名	Art in the Czech Lands 1600-1780
	担当教員名	Martin Krummholz
	時間数 (1週間当たり)	1授業
	授業内容	17.18世紀の芸術について学ぶ授業。
	試験・課題等	オーラルテスト(スピーキングテスト)。最終授業で実施。 授業の内容について質問されて、それに答える。(15分間)
	感想・自己評価等	現地の学生が10人ほどと留学生が4人での授業だった。 本当に細かなところまで深ぼる授業なので、予習・復習が必須で、芸術に興味のない学生にはお勧めできない。

● 1週間のスケジュール (授業・課外活動・勉強・プライベート等 毎日の生活について記入してください。)

	(例)	月	火	水	木	金	土	日
6:00								
7:00	起床	起床		起床	起床			
8:00		洗濯	起床	授業	授業	起床	起床	起床
9:00	授業	洗濯		授業	授業	予習	自由時間	自由時間
10:00	授業		復習	仮眠	仮眠	予習	自由時間	自由時間
11:00	授業	予習	復習	授業	授業	予習	自由時間	自由時間
12:00		予習	復習	授業	授業	予習	自由時間	自由時間
13:00	授業	予習	復習			予習	自由時間	自由時間
14:00	授業			復習	復習	予習	自由時間	自由時間
15:00	授業		授業	復習	復習		自由時間	自由時間
16:00	買い物	買い物	授業	復習	復習	自由時間	自由時間	自由時間
17:00		買い物		復習	復習	自由時間	自由時間	自由時間
18:00	友人と過ごす		授業	復習	復習	自由時間	自由時間	自由時間
19:00			授業	復習	復習	自由時間	自由時間	自由時間
20:00	勉強					自由時間	自由時間	自由時間
21:00	勉強					自由時間	自由時間	自由時間
22:00		就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
23:00	就寝							

●履修登録の方法 (留学後半分)

履修登録の時期	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前	
<input checked="" type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 入学申請書に記入して登録
<input type="checkbox"/> 到着後	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> オンラインで登録	<input type="checkbox"/> 国際センター等の仲介
	<input type="checkbox"/> その他 ()
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加・削除できましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 変更できた	<input type="checkbox"/> 追加できた
<input type="checkbox"/> 削除できた	<input checked="" type="checkbox"/> 変更できない
履修登録の際の注意点等があればお書きください。	
留学出発前に申請しましたが、後期授業が始まるまでに変更することは可能です。	
その際には、留学コーディネーター(京都産業大学)の了承・サインと、現地の留学コーディネーター(パラツキー大学)の了承・サインが必要になる。	

※以下は留学先で履修した科目 (留学後半分) ごとに記載してください。

1	コース名/科目名	Applications of Mathematics in Economics
	担当教員名	Jan Stoklasa
	時間数 (1週間あたり)	1授業(1時間半)
	授業内容	エクセルを主に使って、在庫管理や最短距離などの法則を実用的なものに応用する演習。 授業前に動画を視聴しそれを授業で説明しながら、一緒に課題を解決する授業。
	試験・課題等	授業前に動画を3つ(ひとつ1時間半程度)を視聴し理解をする。 期末試験の代わりに、授業内で使った法則を利用して、現実社会の問題をひとつ解決する。 セミナーペーパーの提出と、課題解決の説明をクラスの中で発表することで評価。
	感想・自己評価等	今学期のセメスターで1番難易度の高い授業ではあったが、今まで学問の世界でしか使わなかった経済学の法則やエクセルの活用方法を現実世界の問題解決にどのようにして応用するのかを知ることができた。 経済学の法則だけでなく、経営学用語なども出てくるため、自主学習が必要だが、役に立つ授業。

2	コース名/科目名	Art in the Czech Lands 1780-1914
	担当教員名	Martin Krummholz
	時間数 (1週間あたり)	1 授業
	授業内容	18世紀後半以降のチェコの芸術を取り巻く歴史について学ぶ授業。 ロココ、新古典主義、アール・ヌーヴォー、チェコキュビズムなど。
試験・課題等	口頭でのオーラルテスト。授業内容を理解していると問題ないかと。	
感想・自己評価等	学部外の授業。前期と同様に興味がある人にはお勧めするが、専門用語を覚える必要があるため、自主学習が必須。 大好きな先生。	

3	コース名/科目名	Communication for the digital age
	担当教員名	Jaroslava Kubatova
	時間数 (1週間あたり)	3週間に1授業
	授業内容	有効的なコミュニケーションの取り方について、多様な面から分析する授業。
	試験・課題等	「チェコにおけるコミュニケーションの取り方について」レポート4枚 学校や会社、政府などの状況において、メッセージを送る人とメッセージを受け取る人の双方から分析する。
	感想・自己評価等	教授があらかじめ指定した課題図書とそれをまとめたパワーポイントを元に事前学習を進め、2週間に一度まとめの講義が行われる。経済学とは関係がない。

4	コース名/科目名	Introduction to Education and School Psychology
	担当教員名	Lucie Viktorova
	時間数 (1週間あたり)	1週間に一度
	授業内容	心理学の視点から教育学について考える授業。 ポスターワークや、プレゼンテーションなどがあった。
	試験・課題等	基本的に授業での活動を重視するため、試験はなかった。
	感想・自己評価等	行動経済学に興味があり、学部外の授業を取得。PHDの学生兼教員が担当する教科で、日本の大学にはないフレンドリーな雰囲気の中、少数での授業だった。 モチベーションや、クラス内でのいじめについて、心理学の分野から論理的に分析した。

5	コース名/科目名	Mathematical methods for problem solving
	担当教員名	Jan Stoklasa
	時間数 (1週間あたり)	1週間に1授業
	授業内容	上記の授業と重複する部分はあるが、こちらは問題の分析と見極め、そしてどのように問題を解決するのが効率的かを考える授業。例えば、二つの大学を比較し、ある一定の条件を持った人にとってどちらの選択肢の方が最適かを数学を使って求める授業。
	試験・課題等	ある問題を自分自身で挙げ、その問題を解決する方法を探す。 セミナーペーパーとプレゼンテーション。
	感想・自己評価等	専門的な知識だけでなく、実用的な統計方法や物事の比較方法を理解することができるようになった。

●留学前半の感想について

留学先国・留学先大学・プログラム・授業・滞在先・私生活・授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）等について、自由に書いてください。

留学先国の特徴や雰囲気等

チェコはどの都市でも治安が良く、過ごしやすいです。冬はとても寒く、日照時間が短いです。私が留学しているときは、円安の影響もあり、日本で過ごす時と同じぐらいの物価でした。第一言語はチェコ語ですが、若者であればほとんどの人が英語を話せるため、コミュニケーションについて大きな問題を感じることはありませんでした。

観光客や留学生を含め、外国人が多く訪れる国ですので、差別や偏見を感じることは今のところありません。食文化については日本と違う部分も多いため、日本食が恋しく思うことはありますが、スーパーやアジアンショップで購入できるものもあるので、自炊をするのであれば問題ないと思います。(お米や醤油などは少し高価ではあるが購入できる)

留学先大学の特徴や雰囲気等

パラツキー大学が位置するオロモウツは、人口の20%を学生が占めており、学生の街と呼ばれるほど、大学が街づくりの中心を担っています。お店やご飯屋さんについては、京都と比べると少し物足りないと感じる部分はあるかもしれませんが、学ぶ環境は非常に整っていて、住み心地としてはとても良いと思います。

また、プラハやウィーン、ブダペストなどの大都市へのアクセスは良く、平日と休日のメリハリをつけることができると思います。

大学の建物のほとんどは、歴史的な背景がある建物です。大学も含め、オロモウツの街で見ることのできる建物は過去に何かしらの目的をもってつくられた建物であることが多いので、歴史や建築に少し目を向けてもらえると、ちょっぴり充実した生活を送ることができるかなと思います。

(芸術学部の建物はイエズス会学校だった頃の"寮"だったため、コンピクト(チェコ語で寮という意味)と呼ばれていたり、現在の図書館は防壁が造られた際の武器を保管する中心的役割を担っていた場所だったりします。)

授業について

大学キャンパスがなく、学部によって授業を受ける建物が変わるので、街歩きをしながら授業を受けることができるという楽しみがあります。

英語の授業とチェコ語の授業が分かれており、私たちが属する哲学部はほとんどの学生が留学生のため、他国から Erasmus 制度を利用している留学生と授業を受けることがほとんどです。正直、現地の学生と交流する機会は少ないかもしれません。

私が前期に受講した経済学部の授業は基礎的な内容が多かったため、『授業についていくことできない』や『課題や予習、復習に追われた生活』ということはありませんでした。

反対に、授業数が少なく基礎的な内容の講義のため、自由な時間が多くあり、専門的な知識をつけるには物足りないかもしれません。語学取得にしても、授業にしても、興味を持ったことや学びたいことを自分自身で深掘りしたり行動に移すといった自己学習が大切になると思います。

課外活動（ボランティア、サークル等）について

特にボランティアやサークルには所属していません。週に一度、タバタやヨガの教室に参加しているぐらいです。希望であれば、ジムやプールを利用することができると思います。

滞在先（寮や一人暮らし等）の環境について

フラットメイトやルームメイト次第だと思います。

私の場合、1学期はNeredinで暮らし、12月中旬からEnvelopaにて現地学生の友達と暮らしています。私は快適な生活を送ることができていますが、トラブルになった学生もいると聞いています。ルームメイトでお互いにご飯を作りあって共有する人、自炊はせずにテイクアウトや外食で済ます人など様々です。

現地での生活
<p>私は現地学生の友達が多く、食事やバブに招待してもらってチェコ料理に挑戦しました。休日是一緒にマラソン大会に参加したり、チェコ現地のサッカーを観戦したりしました。</p> <p>英語が流暢に話せるわけではないですが、他国の友達とふたりで旅行に行ったり、自分だけでは解決できないことを友達に相談できるようになっていたり、振り返ってみると、知らぬ間に少しずつできることが増えているのかもしれない。</p> <p>私の性格上、カルチャーショックやホームシックを感じることも多いですが、たくさんの人に支えられながら生活できていると感じています。国境や言語の壁なんてものはない！</p>
留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイス
<p>僕の留学目的や留学生活は、他の留学生と大きく違うと思うので参考にはならない部分が多いと思いますが、外国語学部・国際関係学部ではない学生でも、交換留学をすることは不可能ではないと、これから留学を目指す学生にとって、その道を拓くことができたのであれば何よりです。</p>
留学前半の反省・留学後半に向けての意気込み・目標
<p>平坦な道なんてなく大変な3ヶ月でしたが、本当にたくさんの人に助けられながら自分自身ここまでよく頑張ったなと思います。</p> <p>僕の目標はこの先にあるので、これから大変なことも嬉しいことも自分しか体験できないことだと思い締めて、走り切りたいと思います。</p>

留学体験談の執筆依頼について

以下の留学体験談は、記入必須ではありませんが、留学を目指す学生にとって大変貴重な資料となり得る限り、記載いただきますようお願いいたします。

留学のきっかけ
最初のきっかけは、単に海外への留学に憧れを抱いていたことです。大学入学後、国際経済学に興味を持ち、発展途上国の経済問題を先進国で学びたいとじっくりと考えていました。しかし、具体的な留学目的がなかったため、最初の交換留学募集には落選しました。その後、地域発展、都市計画などに興味を持つようになり、「街づくりについてフィールドワークを通じて研究したい」という目的の元、自分の動機にあった協定校を発見することができたことがチェコに留学をするきっかけです。
留学先国、大学を選択した理由
チェコ・パラツキー大学は中央ヨーロッパに属しており、激動の過去を乗り越えた歴史ある大学です。また、パラツキー大学のあるオロモウツという街は人口が10万人のうち、2万人は学生という学生の街とされており、非常に治安が良く、学生企画運営のパーティーや学生限定のバーやクラブもあります。 京産のような、大学キャンパスがあるのではなく、学部棟が街の中に散らばって存在し、平日は教室を移動したりや中心街で友達と談笑したりする学生で街は賑やかになります。 祝日は、毎週のようになんらかのイベントが中心街で開催されておりオロモウツに滞在していても充実した休日を送ることができるし、学生は交通費が大幅に割引されるので足を伸ばして隣町や隣国に訪れることもできます。 将来、京都の街づくりに関連した仕事をしたいと考えていた私にとって、学生の街という共通点があり、より学生が中心になって街づくりに貢献するオロモウツの街に実際に住むことに魅力を感じました。 またオンライン英会話に通っていた頃に、中央ヨーロッパ出身の先生方にお世話になっていたこともあり、見ず知らずの中央ヨーロッパの文化に興味を持っていました。
留学先大学での授業・学習内容・試験・課題・について
正直、留学生の授業は現地学生と比べて授業・試験内容が易しいため、自由な時間を持つことができると思います。ただ、英語での生活の経験のない私にとって、英語で授業を受けることは大変なことで、慣れるまでに時間がかかりました。しかし、同じ環境で頑張る友人や教授の助けもあり、孤独にならずに挑戦し続けることができました。
滞在先について
基本的には学生寮で生活することになります。良心的な価格で、セキュリティもしっかりしていました。シェアルームでの生活経験がなかった私にとって、共有スペースの利用を不自由を感じる部分もありましたが、それも留学の醍醐味として捉えておくことができると充実した生活になると思います。
留学先国や大学の雰囲気について
チェコはヨーロッパの中でも非常に治安が良く、オロモウツは学生の街として授業終わりには街は学生で溢れます。また、週末になると中心街にてイベントが行われたり、12月中はクリスマスマーケットが連日開催されたりと、活気あふれる街です。その中心街から徒歩10分ほどのところに学生寮があり、基本的に生活の中ではトラム(路面電車)を利用しますが時間があれば徒歩でどこでも向かうことができます。冬季は日が短く、12月は午後4時に火が落ちて真っ暗になる一方で、6月は10時ごろまで薄明るいという気候の違いはありますが、四季があつてうさぎやハリネズミ、リスなどの動物を見かけることもあり自然を感じながら負担なく生活できる場所だと思います。 大学は学部ごとに建物が分かれており、歴史的建築を改修して利用しているものもあるため、歴史や芸術にも触れる機会が多くなります。食堂や売店も品揃えが多く、図書館は夜の10時まで開館しているように大学の設備は非常に充実していると思います。
友人関係について
授業内やイベントにて、他の留学生や現地の学生と関わる機会が多くあるため積極的に話しかけると仲良くなることができると思います。また、パラツキー大学には日本語学科があり、日本の文化や言語に興味を持った学生もたくさんいます。 私の場合、多くの友達が現地学生だったので、実家や誕生日会に招待をしてもらったり、おすすめのビールパブを紹介してもらったりして充実した生活ができました。 特に、チェコのことを調べたり、ツアーを予約したり、退寮の手続きなどチェコ語を必要とする際に、友人に協力してもらえたことは非常に助かりました。

苦勞したことや大変だったこと
<p>留学当初は、現地の学生や授業内でのコミュニケーションについて身構えていました。チェコ語という母国語があり、スーパーの表記はチェコ語のみで、年齢の高い方には簡単な英語も伝わることができません。反対に、小さい頃から英語に触れてきた学生と比べると、英語のレベルに引け目をとることも多々ありました。</p> <p>しかし、終わる頃には慣れてきたのもありますが、コミュニケーションをとることに對して劣等感を感じることはなくなりました。正直、語学の習得を第一の目的に留学をしていたわけではないので、語学力が非常に伸びたとは言えませんが、発音や言語の壁を自分自身に對しても相手に對しても作ることがなくなったので友達の幅が増えたことや、語彙力がなくても話題に制限をつくらずなんでも話しました。</p> <p>母国語があり英語が第二言語の国を留学先に選ぶことに躊躇している方もいるかも知れませんが、多くの現地学生は第二言語でコミュニケーションをとることを拒まず、完璧ではない言語も受け入れるという文化が根付いているように感じます。それは歴史にも関係があって話すときと長くなるのですが、そのひとつとしてチェコ人とスロバキア人がコミュニケーションをとるときは、チェコ人はチェコ語で話し、スロバキア人はスロバキア語で話します。教授と生徒の間でも、授業や口頭試験でもそうです。彼らは、言語は"方言"と同じだと認識しているように感じます。</p> <p>長くなりましたが、結局、言語の壁を作っていたのは自分自身で、知っている単語もよく使う表現も発音も人それぞれで、それは個性みたいなもので、大して重要ではないように思います。最後には変わっている発音が笑いをとるネタのようになっていました。</p>
授業以外の活動（課外活動・ボランティア・サークル等）について
<p>授業以外の自由な時間が多くあり、英語の学習や友人と遊びに出かけていました。それでも時間があふれるので、自分で何か好きなことや没頭できることを探して足を踏み出さないと退屈な生活になってしまうと思います。</p> <p>私の場合、art historyの教授が校外学習に招待してくれたことをきっかけにチェコの建築や芸術に興味を持つことができ、時間を使って美術館や建築を回っていました。</p>
留学経験から得たこと
<p>留学を通じてできるようになったと胸を張って言えるのは、スペイン人からおしえてもらったバエリアを作れるようになったことと、モラヴィア地方の名物フルガールというパンを焼けるようになったこと。あと、ルームメイトに教えてもらったバナナブレッドが焼けるようになったことぐらいです。きっとそれは、私が道を踏み外してしまいそうになったとき、大切なことを思い出す道しるべとなってくれることでしょう。</p> <p>留学を通じて、これから味わうことは決してない、言葉には到底することができない経験や知見は得られましたが、それが果たして将来、日本で活かせるかと言われると分かりません。ただ、いつでも帰っておいで、と言ってくれる友人や教授ができたことは誇りであり、チェコのことが好きになることができたのは、留学を通じて出逢ったみんなのおかげです。感謝です。</p> <p>この留学経験がこれからの人生にどのように繋がるのかは分かりませんが、強く交わした握手と、どんな状況でもビールには手を伸ばし続ける精神が、新たな目的地へと向かう活力に変わるとするならば、これ以上のことはありません。</p>
これから留学する方へのメッセージとアドバイス
<p>you are brave if you challenge yourself to dive into an unknown world. if you get afraid of the world, your Curious would get beyond your anxiety. All is a coincidence that the accidents and the people you will come across. Get struggled, keep doing, and I hope you could achieve whatever you want.</p>
今後の進路や目標等
<p>建築に携わる仕事をしたいと思います。</p>

・留学の様子がわかる写真 (2~3枚) があれば、以下に添付してください！

